

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】					国際言語文化学士教育プログラム				
	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	(1) 国際的な場面で活躍するための高度な外国語運用能力(外国語運用能力)	○	○	○	○			○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 国際的な場面で活躍する能力の育成は、自律性、社会性、地域・国際性の育成を必然的に伴うため また、高度な外国語運用能力の育成はコミュニケーション・スキルの育成に直結しており、本プログラムの専門性の重要な一部であるため								
	(2) 外国語の情報を正確に整理・分析することによって、グローバルな視点で主体的な見解を導く能力(情報分析力)	○					○	○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 自主的な情報収集能力及び主体的な見解を導く能力の育成は自律性の育成につながるため また、情報を正確に整理・分析し、主体的な見解を導く能力の育成は、情報リテラシー及び問題解決能力の育成に連係しており、専門分野で身に付けるべき能力の一つでもあるため								
	(3) 多様な見解や価値観を学びつつ、自らの意見を説得力ある表現で伝達することのできる能力(主体的表現力)	○	○	○	○				○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 自らの見解と意見を説得力ある表現で伝達することのできる能力の育成は、コミュニケーション・スキルの育成に直結しているため また、この能力の育成は自律性、社会性及び地域・国際性の涵養にもつながり、専門分野で身に付けるべき能力の一つでもあるため								
	(4) 異なる文化背景・国籍をもつ人々と協力しながら、地球的視野で物事を判断し、地域あるいは国際社会の様々な課題に対して、専門的知識を基に思考し、行動することができる能力(専門的知識と実践力)		○	○	○	○		○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 多様な見解や価値観を学び、自らの意見に反映させる能力は、コミュニケーション・スキル及び専門分野で身に付けるべき能力の中に含まれるため また、この能力の育成は社会性、地域・国際性、専門性の育成並びに問題解決力の育成にもつながるため								
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								